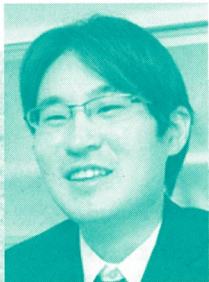


私の 独立開業日誌

公認会計士・税理士
松本佳之



◆◆◆ 公認会計士を目指す! ◆◆◆

私は大学1年のときに旧公認会計士試験二次試験の受験勉強を開始し、約3年の勉強期間を経て、合格することができました。

公認会計士を目指したきっかけは今になって考えるとよくわかりません。勉強を始めた時は公認会計士の仕事についてまったくわかっていませんでした。高校のときに簿記の勉強をしたことがあったから、くらいの理由です。しかし、やってみないとわからないものです。今では天職のように思っています。まさにイチロー選手が野球に出会ったように(笑)。

受験勉強時代は勉強の合間をぬって受験仲間とよく遊んでいました。お昼休憩のつもりがそのまま夜まで遊んでしまう、なんていうこともしょっちゅうありました。もちろん勉強や勉強方法のこともたくさん話をしました。そのときの受験仲間の一人が今の事務所のパートナー(共同経営者)ですし、それ以外の仲間とは今でも飲みに行ったり、旅行したりと親交を深めています。そういった受験仲間がいたからこそ厳しい受験勉強を乗り越えることができた、と思っています。そして、同じような経験をしている受験仲間はプライベートのことも仕事のことも相談できる最高の仲間です。互いに高め合うことができる受験仲間を見つけることも受験勉強を乗り越えるために大切なことの一つだと思います。

◆◆◆ 監査法人で株式上場支援業務を経験 ◆◆◆

合格後は朝日監査法人(現あずさ監査法人)に就職しました。多くの受験仲間から「東京に行こう」と誘われましたが、天の邪鬼な私は大阪の中小規模のクライアントの監査を手掛ける監査部門を志望し、配属されました。そこでは企業の監査業務と株式上場支援業務を中心に行いました。株式上場支援業務というのは、与えられたことをやるのではなく、会社にあった業務を自分で作るというもので、非常にやりがいを感じました。その後、もっと専門的に株式上場支援業務を行いたいと考え、株式上場を専門に手がける部門(企業公開部)への異動を希望し、配属されました。

企業公開部での仕事の対象は、主に上場を目指す会社です。会社の体制はまだ未整備です。上場するためには会社の経理や内部管理の体制を強化することが必要です。そうすると当然、仕事量も面倒な業務も増えることになるので会社の担当者は嫌がります。しかし、目的を説明し、一緒に取り組んでもらう。そして、未整備だった会社がいつか上場会社として相応しい会社になる。ひとつのきっかけがあれば人は変わり、会社は変わるということを実感することができました。

でも、上場を目指す会社は、監査法人、証券会社、ベンチャーキャピタルなど会社をサポートしてくれる関係者がいます。それよりも上場とは関係のない中小企業の方こそ「きっかけ」が必要なのではないだろうか。そういった中小企業へのアドバイスをし、会社がよくなれば関西が盛り上がる。「関西の中小企業を盛り上げよう!」そのように思い、独立開業を決意しました。

◆◆◆ 継続する情熱!! ◆◆◆

独立開業前に、パートナーとファミリーレストランで「どのような会計事務所を目指すのか」を議論しました。そこで生まれたのが、事務所の経営理念である「継続する情熱」。

羽生善治さんの『決断力』という本に書かれていた「才能とは、継続できる情熱である」という言葉を参考にしています。

自らの信念を貫き関西の中小企業を盛り上げ

る!そしてクライアントから絶大なる感謝と信頼を得られる会計事務所を作ろう、そのためには自分たちの情熱をぶつけるしかない、そんな想いがこの経営理念に込められています。

そもそも経営者でもない外部の者が「会社をよくしよう」なんて言うのはおこがましいと思います。でもたくさんのノウハウのある我々のアドバイスを受け入れて欲しい、そうすれば会社は必ず発展する、という想いがあります。経営者に言うことを聞いてもらうためには我々が部外者であってはいけません。クライアントに対して、経営者にも負けないような「情熱」を持って、本気で取り組まないといけないのです。そして我々は、一人のプロフェッショナルとして誰にも負けないという我々自身の仕事に対しても「情熱」を持たなければならないと思います。経営理念の「継続する情熱」には、クライアントに対する「情熱」と我々自身への「情熱」の二つの想いを込めています。

我々自身が「情熱」をもって自己研鑽し、クライアントも我々自身も今日より明日の方が少しでもよくなるようにとスタッフ全員が取り組む、そういった事務所を目指しています。

◆◆◆ 常に向上する ◆◆◆

受験勉強も同じだと思います。将来の自分像、プロフェッショナル像を目標にして、「情熱」をもって勉強に取り組む。そして、昨日より少しでも前進する。そうすればいつかは間違いなく目標に到達します。昨日と同じではダメ。どんな些細なことでも昨日より何かプラスでないとダメです。

模擬テストで昨日と同じミスをしていたりしませんか? 解答を見て、問題を昨日と同じように解き直してもミスの原因が解決されていないかもしれません。昨日よりほんの一步でも進んでいるのか、立ち止まって振り返ることも大事です。ミスの原因を深く追求し解決する。そうやって少しずつ前進することが大切です。

◆◆◆ 専門家の仕事 ◆◆◆

試験の合格なんてスタートに過ぎない。これから何度も言われると思いますが、今から深く刻んでおいてください。

税法も会計基準も頻繁に改訂される昨今、一年間、眠っていると専門家として役に立ちません。それ以前に「公認会計士」も「税理士」も専門家であり、クライアントからは「先生」と呼ばれる職業なのです。自分の気持ちの持ち方次第で、幅広い仕事も、深みのある仕事もできます。しかし、逆に坦々と仕事をこなしていくこともできます。

苦勞して受験勉強をして自分は何をしたかったのか、これをずっと忘れずに高く気持ちを持ち続けて仕事をしていって欲しいと思います。

中身の無い「先生」になるのか、クライアントに信頼される「先生」になるのか…。スタートしたときにどれくらいのスピードで走るかで決まります。

今描いている将来の自分像、プロフェッショナル像は絶対に忘れないようにしておいてくださいね。

一流の専門家ができれば、それだけ会計業界が信頼されることになります。その中で私たちが力を発揮すれば企業は必ず発展します。そして企業の発展は日本の発展に繋がるのだと思います。みなさんでこの会計業界を盛り上げていきましょう。

＜私の事務所＞	北浜総合会計事務所
■開設年月日	平成19年7月
■住所	大阪市中央区今橋1-1-7 R.I.Nビル8階
■TEL	06-6220-1811
■FAX	06-6220-1812
■立地条件	「北浜駅」より徒歩5分、「淀屋橋駅」より徒歩10分
■職員数	5人
■事務所のモットー	継続する情熱—我々は自己研鑽とクライアントの発展に情熱を惜しまない。
■将来の目標	関西の中小企業の発展に貢献することと社会貢献。
■ホームページ	http://www.office-kitahama.jp/
■ブログ	http://blog.livedoor.jp/kitahamakaikei/
＜私の略歴＞	
平成13年10月	公認会計士第二次試験 合格
平成14年3月	関西学院大学商学部 卒業
平成14年4月	朝日監査法人(現 あずさ監査法人) 入所
平成16年5月	公認会計士登録
平成19年3月	あずさ監査法人退所
平成19年3月	税理士登録
平成19年7月	北浜総合会計事務所開所